

# 令和3年度事業報告

## 公益目的事業

### I 国際理解の推進

#### 1 施設の運営及び情報収集提供機能の拡充

##### (1) 国際交流プラザの運営及びライブラリーの整備

県から委託を受けて運営している「国際交流プラザ」が県民や在住外国人等をはじめ関係団体等に幅広く利用されるよう、海外渡航や留学情報、アジア・太平洋諸国をはじめとする世界各国の最新情報及び語学学習や異文化理解に役立つ図書等の整備のほか、海外の新聞や雑誌等を定期的に購入し、閲覧に供した。

図 書	2, 049冊
ビデオ・DVD	189巻
外国語新聞	4紙
外国語雑誌	4紙

##### (2) 情報収集発信の充実

###### ア 幅広い情報収集提供

市町村や国際交流団体、在住外国人等との交流を通じて、国際交流に関する幅広い情報を収集・提供した。

###### イ IT活用による情報発信

協会のホームページやフェイスブックを活用し、県民及び在住外国人に多種多様な情報を提供した。

###### ウ ワーキングホリデーセミナーの開催

若者等の海外体験の機会を拓げるため、「ワーキングホリデーセミナー」を開催し、海外留学等に関する情報提供を行った。

開催日	令和3年8月7日(土)
場 所	かごしま県民交流センター
参加人数	4名

## エ 相談・支援体制の充実

国際交流や多文化共生に関する相談等に応じる相談員を配置し、県民や在住外国人からの相談に応じた。

また、県から委託を受けて、在住外国人等の在留資格、雇用、医療、福祉などの相談に多言語で応じる外国人総合相談窓口の運営を行い、適切な情報の提供に努めた。

これらの各種相談に適切に応じられるよう、職員の専門知識の習得やカウンセリング技術の向上に努めた。

相談件数	473件（うち外国人総合相談窓口での件数 445件）
------	----------------------------

## 2 広報出版活動の充実

### (1) 広報誌の発行

#### ア 日本語情報誌「暖流（DANRYU）」の発行

県内の国際交流活動情報を盛り込んだ県民向けの日本語情報誌を発行し、関係機関・団体等へ送付するとともに、ホームページ、フェイスブックに掲載した。

発行回数	： 年1回	発行部数	： 2,300部
------	-------	------	----------

#### イ 英文情報誌「South Wing」の発行

県内在住の外国人を対象に鹿児島県の日常的に必要な情報を提供するため英文情報誌を発行し、国際交流員や語学指導助手、留学生、語学ボランティア、当協会講座の参加者、関係機関・団体等へ送付するとともに、ホームページ、フェイスブックに掲載した。

発行回数	： 年1回	発行部数	： 800部
------	-------	------	--------

#### ウ 「国際交流ひろば」の発行

当協会や県内交流団体等のイベント情報のほか、鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等の紹介や鹿児島に居ながらにして世界を感じられる場所等の情報を盛り込んだ情報誌を発行し、関係機関・団体へ送付するとともに、ホームページ、フェイスブックに掲載した。

発行回数	： 毎月1回	発行部数	： 600部
------	--------	------	--------

## 3 国際理解事業の推進

### (1) 外国語・文化講座等の開催

#### ア 県国際交流員による文化講座の開催

県民の国際理解を促進するとともに、多文化共生の地域づくりへの関心を高めるため、県国際交流員による、それぞれの母国を中心とした外国の文化紹介や異文化体験等の機会の提供を行った。

実施回数：	1回	参加者：	19名
-------	----	------	-----

#### イ 在住外国人による公募型国際理解講座の開催

本県の多文化共生の地域づくりを積極的に進めるため、在住外国人による母国の紹介などの国際理解講座を開催し国際理解の推進に努めるとともに、在住外国人自らが本県における多文化共生の地域づくりに積極的に参画する機運の醸成を図った。

実施回数：	2回	参加者：	52名
-------	----	------	-----

#### ウ 児童・生徒向け国際理解講座の開催

##### i 国際理解ミニ講座の開催

県内の小・中学生を対象に、「来て、見て、知って！」国際理解ミニ講座として、県国際交流員や協会職員が本県の国際交流の現状や友好関係を結んでいる国や地域を紹介し、児童・生徒の海外への関心を高め、異文化を理解をする機会を提供した。

実施回数：	1回	参加者：	2名
-------	----	------	----

##### ii 英語絵本のよみかたり講座の開催

幼少期から英語に触れる機会を提供するとともに、子どもたちの英語への関心を高めるため、幼児から小学校低学年までの児童とその保護者を対象に、県国際交流員による「英語絵本のよみかたり講座」を開催した。

実施回数：	1回	参加者：	10名（親子3組）
-------	----	------	-----------

#### エ 一般向け国際理解講座の開催

地域レベルでの国際交流に関する理解の促進を図るため、市町の国際交流協会、地域の自治会など国際交流に関心のある一般の方々を対象に、県国際交流員や協会職員が本県の国際交流の現状や友好関係を結んでいる国や地域の紹介などを行う講座を開催した。

実施回数：	2回	参加者：	147名
-------	----	------	------

#### オ ベトナム理解講座の開催

県内に在住する外国人のうち、近年、急激にその数が増加しているベトナム人の母国に関する理解を深めるため、ベトナム人講師による、同国の歴史、民族、文化、生活、言語など多岐にわたる分野を紹介する講座を開催した。

実施回数：	4回	参加者：	127名
-------	----	------	------

## カ ランチタイム・イングリッシュ・クラブの開催

英語圏出身の県国際交流員がコーディネーターとなり、県民を対象として、英語による異文化や海外事情などをテーマとする意見交換会を行った。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で国際交流員の着任が遅れたことから、実施回数は少なくなった。

開催日：	毎週金曜日	
実施回数：	9回	参加者： 延べ90名

## キ 中国語ランチタイムトークの開催

中国出身の県国際交流員が新型コロナウイルス感染症の影響で来日できなかったことから、鹿児島大学の中国人留学生を講師として、県民を対象に中国語による異文化や海外事情などをテーマとする意見交換会を行った。

※ 国際交流員が来日できなかったことから、実施回数は少なくなった。

開催日：	月2回	
実施回数：	8回	参加者： 延べ61名

## ク 韓国語ランチタイムトーク

韓国出身の県国際交流員がコーディネーターとなり、県民を対象として、韓国語による異文化や海外事情などをテーマとする意見交換会を行った。

開催日：	毎週水曜日	
実施回数：	33回	参加者： 延べ228名

## (2) 国際理解プログラム事業の実施

### 「協力隊OBと留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～」事業の実施

青年海外協力隊や国際協力、海外事情等の理解促進を図るため、青年海外協力隊OB及び県内大学等の留学生を県内の小中学校に講師として派遣する事業を、青年海外協力隊鹿児島県OB会、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び協会で組織する実行委員会で実施した。

派遣学校	35校
派遣人数	延べ51名
参加者	2,015名

## (3) 国際理解教材の整備・貸出し

国際理解、国際交流、国際協力等に資する地域の国際化を目的とした事業等の実施者に対して、民族衣装や国旗の貸出しを行うとともに、その整備・充実を図った。

民族衣装	10回（学校0，市町村1，各種団体等9）
国旗	3回（学校1，市町村0，各種団体等2）
地図	0回（学校0，市町村0，各種団体等0）

## II 国際交流活動の展開

### 1 海外との相互交流の推進

#### (1) 鹿児島・全羅北道文化交流事業の実施【令和3年度は派遣】

本県と幅広い交流を行っている韓国全羅北道との相互理解・交流を深めるため、それぞれの地域の文化や観光、歴史等に関する講座を隔年で交互に実施することとし、令和3年度は本県から全羅北道へ講師を派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりリモートを使い、全羅北道の参加者に対して、本県の講師による鹿児島の文化・観光等の紹介や屋久杉を使った工作などの体験講座を実施した。

実施時期	令和3年10月23日(土)
参加人数	24名

#### (2) 国際交流イベント等への協力

海外からの参加を含む国際交流のイベント等を実施する公的団体等に、語学ボランティアを紹介するなど必要な協力を行う事業。

※新型コロナウイルス感染症の影響による国際交流イベント等の中止が相次いだため、本格的な協力等は実施できなかった。

#### (3) 留学情報の提供及び相談

世界主要国の留学制度、海外生活、海外事情、ワーキングホリデー等に関する書籍を整備し、情報を提供するとともに、相談に応じたり専門機関の紹介を行った。

また、ワーキングホリデーに関するセミナーを実施した。(再掲)

相談件数	8件	※留学、ワーキングホリデーに関する相談
------	----	---------------------

### 2 在住外国人との交流促進

#### (1) 地域の国際交流活動への協力

市町村・企業・団体等が在住外国人との交流活動を行う際の企画立案等の相談に応じるとともに、共催や後援による協力を行った。また、さつま町が設置している「多文化共生推進協議会」において委員として参加し助言等を行った。

後援件数	2件
さつま町多文化共生推進協議会	2回

#### (2) 地域の国際交流活動への参加

市町村や国際交流団体等と連携し、県内各地で行われるイベント等に国際交流ブースを出展し、地域における在住外国人と一般県民との交流促進を図る事業。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、実施市町村がイベント等を中止した。

### 3 国際交流組織等との連携・支援の強化

#### (1) 民間団体等の国際交流・協力活動への助成

県内の民間団体が行う海外との文化・スポーツ・学術等の国際交流活動，県民の国際理解の推進を目的とする活動，地域レベルの国際交流・協力の推進を目的とする活動等に対し助成を行った。

件数	： 1 件	助成額	： 3 0 0 千円
----	-------	-----	------------

#### (2) 市町村や市町国際交流協会・国際交流団体との連携

##### ア 意見交換会の参加

共通の課題や問題を抱える市町村等の職員を対象とした県主催の多文化共生社会推進会議に参加し，問題解決のための方策の検討を行うとともに，ネットワークづくりを行った。

開催日	令和3年8月17日(火)
開催方法	オンライン
参加市町等	16市町・団体

##### イ 鹿児島県の国際交流・協力団体ダイレクトリーの拡充

国際交流団体等のネットワークの一助とするため「国際交流・協力団体ダイレクトリー」の更新等を行い，各団体等の状況把握に努めるとともに，協会ホームページに掲載して，それぞれの団体の活動を紹介した。

#### (3) 全国組織等との連携

##### ア 全国組織等との連携

地域国際化協会連絡協議会をはじめ，財団法人自治体国際化協会など当協会と関係の深い全国組織等との連携を密にし，事務・事業の円滑な推進を図った。

##### イ 九州地区の協会間の連携

九州・沖縄地区の地域国際化協会で組織する連絡協議会の総会及び実務者研究会等にリモート等を利用して参加し，相互の情報交換や連携の強化を図った。

### 4 国際交流ボランティア制度の拡充

県民や在住外国人の国際交流への参加を促進するため，講座や広報誌等での周知・広報により各種ボランティア登録者の拡大を図った。

なお，新型コロナウイルス感染症の影響により各団体の海外との交流事業が激減し，語学ボランティア等の要請がなかった。

登録者の状況	語学ボランティア登録	61名
	ホストファミリーボランティア登録	16家庭

## 5 旅券発給業務補助を通じた海外交流等の環境づくり

県の委託を受けて、かごしま県民交流センター内に設置されているパスポート窓口及び北薩地域振興局において、旅券の申請受付・作成・交付の業務を行った。

項目	内容	備考
旅券交付件数	2, 577件	県全体

## Ⅲ 多文化共生社会の推進

### 1 在住外国人と日本人の相互理解の促進

#### (1) 在住外国人のための日本語・日本理解講座の開催

県内に居住しているの外国人を対象に、鹿児島での生活の充実とコミュニケーションの円滑化を図るため、日本語及び地域社会で生活する上で必要な生活情報等を学ぶ講座を実施した。

クラス	開催日	講座回数	受講者数(人数/回)
午前の部	毎週水曜日(5月～2月)	30回	24名
夜間の部	毎週木曜日(5月～2月)	30回	23名

計12か国の方が受講

#### (2) 日本語サロン「おしゃべりひろば」の開催

日本語の日常会話が可能な在住外国人を対象に、フリートーキングを主な内容とする「おしゃべりひろば」を実施し、在住外国人同士のネットワーク構築や日本語会話の上達を図った。

実施回数	参加者数	出身国数
7回	延べ63名	12か国・地域

#### (3) 多文化共生の地域社会づくりの推進

##### ア 在住外国人のための災害対応の支援(新規)

自治体国際化協会の助成を受けて、地方における災害時の多文化共生の在り方についての理解を深めるため、さつま町と連携し、在住外国人に対して台風、大雨、地震などの災害や防災対策などを学ぶ講座を実施した。また、在住外国人の身近にいる地域住民等に対して「やさしい日本語」の理解を通じた日常的な在住外国人との交流や災害時のサポート手法について学ぶ機会を提供した。

さらに、在住外国人及び地域住民等の合同ワークショップを開催し、ハザードマップの使い方や非常時の連携のあり方について学んだ。

<第1回>

開催日	令和3年10月3日(日)
場所	さつま町虎居地区公民館
参加人数	24名(さつま町及び周辺の外国人支援に興味のある日本人)
内容	・講話「災害時の多文化共生(災害時に外国人が困ること)」 ・講話「異文化理解」

<第2回>

開催日	令和3年10月17日(日)
場所	さつま町役場本庁舎別館大会議室
参加人数	26名(さつま町及び周辺の外国人支援に興味のある日本人)
内容	・講話「やさしい日本語を知ろう」 ・ワークショップ

<第3回>

開催日	令和3年10月31日(日)
場所	さつま町役場本庁舎別館大会議室
参加人数	21名(さつま町及び周辺に居住する在住外国人)
内容	・講話「日本及びさつま町の災害」 ・演習「消防への電話のかけ方・消火体験、ボイストラの実演」

<第4回>

開催日	令和3年11月7日(日)
場所	さつま町虎居地区公民館
参加人数	48名(第1回～第3回の講座受講者)
内容	・講話「災害時に役立つものの工作体験、非常持出袋ゲーム」 ・ワークショップ「ハザードマップを使った危険箇所の確認」

## イ 外国人住民からの相談対応研修の実施

日常業務において在住外国人の相談に対応している行政機関や福祉団体・各種学校等の担当者を対象に、在住外国人の生活相談や情報提供・相談の原則等相談対応の基礎知識を学ぶとともに、福岡出入国在留管理局等での取組みを紹介するなど、機関団体間のネットワーク形成を目的とした研修を開催した。

開催日	令和3年12月3日(金)
場所	かごしま県民交流センター
参加人数	44名
内容	・講話「外国人からの相談はどうしたらいいですか？」 ・関係団体の取組、意見交換 など

## ウ さつま町多文化共生推進協議会への参加(再掲)

### (4) 相談・支援体制の充実(外国人相談事業)(再掲)

## 2 異文化交流の推進

### (1) 外国人による日本語スピーチコンテストの開催

国籍や文化の違いを越えた相互理解及び国際交流を深めるため、各種国際交流団体と連携して県内在住外国人によるスピーチコンテストを、新型コロナウイルス感染予防のため、会場の入場者数を制限して実施した。(来場者数：約80人)

区分	開催日	参加者	参加者出身国・地域
予選	令和4年1月15日(土)	22名 (10か国)	アメリカ(2), インドネシア, エジプト, カタダ, 中国(4), ニュージーランド, ベトナム(8), フィリピン(2), マレーシア
本選	令和4年1月29日(土)	9名 (6か国)	アメリカ, インドネシア, エジプト, 中国, ベトナム(4), フィリピン

### (2) 「県国際交流員による文化講座」等の開催(再掲)

### (3) 「在住外国人による公募型国際理解講座」の開催(再掲)

## IV 国際協力の推進

### 1 留学生への支援

#### (1) 留学生研究活動費の助成

一定の条件を満たす留学生の学会等への出席などの研究活動を支援するため、旅費等の研究活動費への助成を行う事業。

\*令和3年度は留学生からの申請がなかった。

#### (2) 留学生緊急生活支援の実施【新規】

新型コロナウイルス感染症の影響により生活上の困難に直面している県内在住の大学等の留学生に対して、東文子氏のご遺族からいただいていた寄附金を活用し、新型コロナウイルス感染症予防策や図書、非常用食糧等の購入経費の支援のため商品券(留学生一人当たり3,000円相当)の給付を行った。

給付件数	383件
------	------

#### (3) 留学生支援資金貸付制度の運営【拡充】

留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費等で一時的・臨時的に多額の出費を必要とする場合に、無利息での資金の貸付を行った。

件数:	2件	貸付額:	200千円
-----	----	------	-------

#### (4) 各大学等留学生担当者意見交換会の開催

留学生に関する情報交換や支援のあり方等について、各大学等留学生担当者との意見交換会を開催し連携を深めた。

開催日	令和3年4月26日(水)
開催場所	かごしま県民交流センター
参加者	8大学等 24名

## 2 国際協力に対する理解の促進

### (1) 「青少年国際協力体験事業」の実施

国際協力に対する理解や国際性豊かな人材を育成するため、県内の中・高校生を東南アジアの発展途上国に派遣し、ホームステイや現地学校等での交流、青年海外協力隊の活動現場の視察を行う事業(実行委員会形式)。

※新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、団員の派遣を中止した。

なお、同事業の今後の周知を図るため、かごしま国際交流センターに当事業の内容を紹介するパネルを設置・展示し、広報を行った。

## 3 国際協力機関等との連携

### (1) 独立行政法人国際協力機構との連携

独立行政法人国際協力機構との連携により、協会内に国際協力推進員を配置し、国際協力等に関する情報提供や相談等に応じた。

### (2) 在外県人会への情報提供

世界各地の在外鹿児島県人会並びに県出身者に対して、グラフかごしまや県政かわら版等を定期的に送付し、郷土情報の提供を行った。

### (3) 在外県人会活動への支援

南米の4県人会が行う移住者の援護指導、消息不明者の調査、移住者の実態調査、県人子弟の育成・指導、母県との交流などの活動を支援するため、これらの業務を各県人会に委託した。

委託先	ブラジル, アルゼンチン, ペルー, パラグアイ
-----	--------------------------

## 収益事業

県から委託を受けている旅券発給業務補助に付随して、旅券交付申請者の利便性を考慮し、次の事業を行った。

- 1 旅券発給に係る収入印紙・収入証紙の販売協力
- 2 旅券用写真の撮影・販売

※ 一般社団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。